

(様式1)

平成28年度 神奈川県アーティスト・イン・レジデンス 推進事業負担金交付要望書

平成 28 年 ○ 月 ○ 日

マグカル・フェスティバル実行委員会 委員長 殿

平成 28 年度に実施する次の事業について、負担金の交付を受けたいので、関係書類を添えて要望します。

フリガナ 要望団体名	カガワケン コクサイブンコウリュウカツウキョウカイ 神奈川県アートフェスティバル活動協会		
団体所在地	〒231-8588 横浜市中区日本大通1		
代表者	役職	会長	フリガナ 氏名 カガワ 知 神奈川 太郎
事務局所在地	住所	〒231-8588 横浜市中区日本大通1	
	電話番号	045-210-1111	
連絡担当者	フリガナ 氏名	ゲイブン ハナコ 芸文 花子	
	住所	〒 同上	
	電話番号	045-210-3806	
	携帯番号	090-000-0000	
	FAX	045-210-8840	
	E-mailアドレス	magcul@pref.kanagawa.jp	
フリガナ 事業名	ダイ〇〇カイ アーティスト・イン・レジデンスジキョウ 第〇〇回 アーティスト・イン・レジデンス事業		
交付要望額	300,000 円 ←事業計画書の交付要望額と一致		

- 添付書類
- 1 事業計画書（様式2）
 - 2 収支予算書（様式3）
 - 3 団体調書（様式4）
 - 4 事業企画書（様式5）
 - 5 定款、寄附行為又はこれに類する規約等
 - 6 団体役員名簿
 - 7 継続して実施している、または過去に類似事業を実施している場合は、先催時の事業結果報告書（写し）及び収支決算書（写し）、その他チラシ、パンフレット、プログラム、新聞記事、参加者や観客アンケートの結果等

(様式2)

事業計画書

※ 事業期間は事業着手日から決算完了日まで。
ただし、事業実施の末日から30日以内の日付で、かつ、平成29年3月31日まで。

事業名	第〇〇回 アーティスト・イン・レジデンス事業			
事業分野	該当する分野に○を付けて下さい。複数の分野に跨る場合等は「その他」に○を付けて下さい。 ○美術 ・ 工芸 ・ 音楽 ・ 舞踊 ・ 演劇 ・ 映像メディア ・ その他			
事業実施日	平成28年 9月 9日～平成28年 9月 30日			
事業期間	平成28年 6月 1日～平成28年 10月 29日 ※			
会場	住所	〇〇市〇〇区〇〇	名称	〇〇〇市民ギャラリー
事業目的・趣旨	※提案する事業の目的を記入してください。 (例:芸術の分野で活躍するアーティストを招聘し、期間中の滞在創作を支援し、制作現場の一般公開を行うとともに、交流会を開催することで、鑑賞者に多様な芸術体験の場を提供する。等)			
事業内容	※内容、対象、広報、など具体的な内容を記入してください。(記載例) ■内容 公募方式のアーティスト・イン・レジデンス ・9月9日～10日:アーティスト招聘 ・9月10日～30日:作品制作 (レジデンス期間中は制作現場を一般公開) ・9月12日:ワークショップ(アーティストと参加者の交流ワークショップ) ・9月15日:トークイベント(アーティストによる作品紹介、トークイベントの開催) ・9月30日:制作会場撤去、作品展示会場の準備 ■対象 神奈川県内及びその周辺地域 ■広報 ・雑誌「〇〇」に掲載 ・チラシ1,000部を芸術文化施設等に配布 ・ワークショップなど一般参加イベントに係るハガキ〇〇部を配布 ・Facebook、twitter等のSNSによる効果的な情報発信			
入場料	無 ・ 有			
参加予定者数	3 人	鑑賞予定者数	200 人	
事業総予算額	825,000 円			
交付要望額	300,000 円			
当事業に係わる他団体からの共催・後援・協賛者名とその役割	(共催) 〇〇文化振興協会 (共催団体所有の会場提供) (協賛) 〇〇株式会社 (協賛金拠出)			
当事業に係わる他団体からの補助・助成及びその額(予定も含む)	〇〇市 200,000円			

(様式3)

収支予算書

収入の部

単位：円

項目	予算額	内 訳 (積算根拠)
事業収入 負担金収入 協賛金収入 冊子売上収入	50,000 200,000 200,000 75,000	@ 1,000 × 50 人 = 50,000 (ワークショップ参加費) 〇〇市 200,000 〇〇株式会社 200,000 @ 1,500 × 50 冊 = 75,000 ※負担金、協賛金等については、予定も含めて書いてください。ただし、神奈川県負担金(交付要望額)についてはここに記入しないで、必ず自己負担金に含めてください。
自己負担金	300,000	協会の一般会計より拠出 ※様式2「交付要望額」を含みます
収入合計	825,000	※様式2「事業総予算額」と同額

支出の部

単位：円

項目	予算額	内 訳 (積算根拠)
会場使用料	0	共催団体所有により免除
交通費	300,000	国外アーティストの旅費 @ 100,000 × 3 人 = 300,000 (A市～B市 往復)
(制作費) 材料費 撤去費	150,000 50,000	アーティストの作品制作材料費 @ 3 名 × 50,000 = 150,000
(交流活動費) イベント開催費 通信費	50,000 5,000	ワークショップ等交流イベント準備費 チラシ送付用封筒・切手代
記録費 印刷費 事務経費	100,000 3,000 60,000 30,000	チラシ(規定)印刷費 @ 50 × 2,000 部 = 100,000 ポスター印刷費 @ 100 × 100 部 = 10,000 ハガキ印刷費 @ 10 × 5,000 枚 = 50,000 事務用品などの雑費
補助対象経費計 a	748,000	※積算根拠については、必ず記入してください
補助対象外経費 b	77,000	ガソリン代 20,000 オープニングパーティー費 57,000
支出合計 (a + b)	825,000	

※ 収入合計 - 支出合計 = 0

※収入合計と支出合計は、必ず一致させてください

(様式4)

団体調書

平成 28 年 〇 月 〇 日現在

団体名	神奈川県アートフェスティバル活動協会		
団体ホームページ	(※HPをお持ちの場合のみご記入下さい)		
団体設立年月	平成〇〇年〇月	法人設立年月	年 月 (主務官庁:)
組織構成	役員 〇〇 名 (名簿添付)		会員 〇〇 名
	団体構成員 会員の他に準会員〇〇名		
	加入条件等 (記載例)文化芸術活動、芸術作品の創造の原点を支えることに意義を見出し、自らその活動支援を意欲的に行うこと。(特に制約はなし)等		
団体の沿革	平成〇〇年 〇月 〇〇愛好会として〇〇市に発足 " 〇〇年 〇月 第1回アーティスト・イン・レジデンスを開催 " 〇〇年 〇月 〇〇市、〇〇市にも会員を拡げる ⋮		
団体の主催したアートプロジェクト等の実績	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	1. 公募展(〇〇ギャラリー) (事業費 〇〇〇千円) 2. パネルディスカッション(△△ギャラリー) (事業費 〇〇〇千円)	1. 芸術祭(〇〇ギャラリー) (事業費 〇〇〇千円) 2. 会員展(△△ギャラリー) (事業費 〇〇〇千円) 3. 絵画教室 (事業費 〇〇〇千円)	1. 芸術フェスティバル(〇〇市) (事業費 〇〇〇千円)
平成 28 年度の主な事業内容			
事業名	事業概要		予算額(千円)
1. 第〇〇回アーティスト・イン・レジデンス	期日:9月(平成〇年から毎年、〇〇美術館) 内容:国内外からアーティストを招聘し、地域に滞在しながら芸術作品を制作する。また、地域との交流ワークショップ等を開催する。		5,000
団体年間総予算額	5,000 千円		
過去5年の県負担金の採択	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	採択を受けた年度	平成26 年度

(様式5)

事業企画書

事業名	第〇〇回 アーティスト・イン・レジデンス事業
事業の内容 ※事業の詳細な内容、特徴、目標等を記入してください。 ※複数の事業で構成する場合は、1事業ずつ記入してください。	<p>(記載例)</p> <p>当会は、あらゆる芸術活動の支援や、発表の場の提供とアートの普及、地域文化の向上に寄与することを目指している。</p> <p>申請した「第〇〇回 アーティスト・イン・レジデンス事業」は今回〇〇回目の開催である。</p> <p>国内だけでなく、海外からもアーティストを招聘し、アーティストに未知の経験と出会いの場を提供することで、それが発想の源となり、作品に結実することで、新たなアイデアや表現を生み出すことに寄与するなど、創作意欲の向上に貢献してきた。</p> <p>また、昨年の第〇〇回 アーティスト・イン・レジデンス事業の地域交流イベントには、約500人の参加者・見学者が訪れるなど、年々大きな反響があり、県民に文化鑑賞やアートの場を提供している実績がある。</p> <p>また、今年度は、より多くの交流イベント(ワークショップ、シンポジウム等)を実施し、地域住民との交流を図ることで、広く一般の方にもアートを身近なものに感じていただく場を設けることとする。</p>
支援による効果・必要性 ※当負担金を受けることで期待できる効果、負担金の必要性について記入してください。	<p>(記載例)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 交流イベントを充実させ、広く一般の方にアートの魅力を伝え、作品世界を体感する機会を提供する。○ 海外アーティストの参加を促すよう、国内において、当レジデンスの価値を高め、参加の意義を明確にする。○ 広報活動を積極的かつ効果的に行い、国内外へ発信する。

※募集要項5「審査・選考について」の評価基準項目のうちアピールできる部分があれば「事業の内容」欄に箇条書きで記載してください。